

合金 三芳工場の近隣地取得 大和 レイアウト変更なども視野に

銅合金の押出・鋳鍛造品メーカーの大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)は三芳工場(埼玉県三芳町)の近隣地約2千平方メートルを購入した。将来的には工場改修やレイアウト変更の際に活用する考え。取得後に整地しており、当面は運送車両の荷受け時の待機場所などとして用いる方針となっている。

取得にあたり工業用に使用できるように農地から用途を転用する手続きも行った。同社では将来的に三芳工場の隣に立地するグループ会社の三芳合金工業も含めて、レイアウト変更なども視野に入れている。萩野社長は「工場を稼働させながらリノベーションを實施するとすれば、設備などを置く場所がさらに必要となってくる」と土地の取得目的について話している。